

6	2017	12	10~11	倉庫内、落花生室の大掃除において、落花生室入口左壁の上部をエアガンでほこり等の除去作業を、高さ170cmの脚立へ登り作業をしていた。作業終了時に、脚立4段目から3段目へ降りる際に、不注意により3段目で足を踏み外し落下し、落下時に左足の踵を強打したものである。	66	1	371	30 ~ 49
7	2017	12	11~12	倉庫内にてピッキング作業中、商品を膝を使って担ぎ上げようとしたところ、右膝の上部に商品が強く接触し打撲した。	38	3	611	100 ~ 299
8	2017	12	10~11	マイナス15℃の冷凍倉庫内でカップアイスを袋に詰める作業に従事していた。朝から作業を開始し、午前の休憩時に手袋を外すと両手の指先が白く変色している事に気付いた。若干痛みはあったが、午後まで仕事を続けた。翌日、指先の痛みが消えず水ぶくれも出来てきたため病院を受診し、凍傷と診断された。	54	11	529	30 ~ 49
9	2017	12	15~16	美容室の屋根（高さ約6メートル）の雪下ろし作業中、足元を誤って落下し、腰部を強打し、受傷したものである。	57	2	719	50 ~ 99
10	2017	11	6~7	被災者は早朝に出勤し、車両の日常点検を行った。日常点検実施後、構内を移動中、倉庫前に置いてあった鉄板（1,000mm×700mm×2mm）の上を歩行した際に、鉄板ごと右足を滑らせ転倒した。その時、右手首と右肩を負傷した。	39	2	417	50 ~ 99
11	2017	11	10~11	事業所倉庫内で、4段式脚立にのってピッキング作業をしていた。脚立をおりようとしたところ、脚立が滑りバランスを崩して転倒した。	55	1	371	100 ~ 299
12	2017	11	20~21	事業所倉庫内で出荷商品をバース上に設置しようとして、大型商品（マットレス）を押している時に足が滑り、滑った足に力を入れた時に痛みが生じた。そのままアイシングで応急処置をし、夜間であったため翌日通院した。	45	19	611	1~ 9

13	2017	11	1~2	倉庫内で商品を積載したカートラックの検品作業を行っていた際、カートラック上段に乗っている商品の数を確認する為カートラック下段の中心部分に右足を掛けたところ、カートラックが自身に倒れ込みカートラックと積載商品の下敷きになったが、右足の痛みはあったものの特に異常が無かったのでそのまま就業したが、帰宅後足の痛みが引かない為病院へ行ったところ、骨折と診断された。	65	5	362	10 ~ 29
14	2017	11	11~ 12	物流構内作業中に、資材を取りに行く際、仕切りの段差に気付かず、足をひねり、そのまま昼まで作業を続けたが、痛み始めた為早退し、自宅で様子を見たが、痛みを感じた為、夜間に病院に行き、診察を行ったところ、右足関節外側靭帯損傷、右膝関節捻挫により6週間の加療を要すると診断された。	60	19	417	30 ~ 49
15	2017	11	15~ 16	物流センター内で、2段積みの棚の2段目（地上約180cm）に登り、2段目に載せているダンボールケースを下ろそうとしていた。ダンボールケースを下ろし終え、降りようとした際、足場にした1段目（約100cm）のパレットの積み荷が軽く棚の中でスライドしたため、バランスを崩して仰向けで落下し、床に背中を強打して肋骨を骨折したものである。	44	1	419	10 ~ 29
16	2017	11	11~ 12	店舗内にて洗車作業をしている時、ルーフを洗って脚立から降りる際に側溝の角に着地したため、足首を外側に捻る様に体重がかかり転倒して負傷したものである。	63	1	222	—
17	2017	11	15~ 16	構内で列車入換作業中、ポイントを転換し、引上線から留置線への進路構成を指差確認により確認を行った。その後、誘導を行うため機関車へ向かっていたところ、線路脇の信号鉄管に右足が引っ掛かり転倒し右手首を受傷した。	55	2	418	10 ~ 29
18	2017	10	8~9	低床式倉庫前でトラック積載物の荷卸作業をパワーゲート上（高さ1m）のパレットに手積みしていた時、パワーゲートの端に足を着き、滑ってドライバーが落下した。左側から落ち地面	35	1	221	30 ~

				に着地したため、左上腕部を骨折した。				49
19	2017	10	23～ 24	2階エリアには、ラインコンベヤが行き渡っている関係で、数か所に階段付きの架台を設置し、エリア移動できるようにしている。地面へ下りるために、階段があることは認識していたが、行きたい場所へ行くのにどのルートを通っていこうか、目線を遠くの方へ向けたまま立ち往生していた。その事に気をとられ足元にある段差から転倒してしまった。	57	1	413	500 ～ 999
20	2017	10	6～7	配送先の店舗にて、トラックの荷台からカゴ車を降ろす際、カゴ車のストッパーに靴ひもが引っ掛かり、靴が脱げた足をカゴ車で轢いて負傷した。	46	7	362	100 ～ 299
21	2017	10	11～ 12	倉庫にて、4トン車（平ボテ）に積み込み終了後、シート掛けをしようと荷台のアオリに足をかけシート受けに常備しているシートを取ろうとした際にバランスを崩し、右足から地上に落下した。	64	1	221	10 ～ 29
22	2017	10	3～4	荷物積載用のカゴ台車（空）42台をトラックにて構内に持ち込み、荷台より所定の位置への荷卸しを行っていた。カゴ台車4台（約120kg）をまとめた状態で移動中に方向転換をした際、カゴ台車のキャスター同士が接触し、ロックした状態となり作業側へ倒れた。安全靴を着用していたが、つま先の鉄板部分外に当たり受傷に至る。右中足骨底、右中足骨体骨折。	25	5	362	30 ～ 49
23	2017	10	12～ 13	入り口まで4段の階段があるマンションへの配達を行う際、荷物を持って3段目の階段を上っていたところ足を滑らせ、4段目に左足を着いた際に捻り4段目で尻もちをついたもの。	64	1	413	500 ～ 999
24	2017	10	16～ 17	移転の為、キャビネットをトラックに積み込む際キャビネットとトラックの跳ね上げに右手中指を挟まれた。	34	7	391	30 ～ 49
			22～	被災者がトラックで荷室（助手席側脇扉）約100cmより足を滑				100

25	2017	10	23	らせ落下。着地時に足首を捻り捻挫し、腫れが出ている。	47	1	221	～ 299
26	2017	10	12～ 13	倉庫内にてピッキング作業中、オリコンで左手小指を突き指し、骨折した。	62	3	379	100 ～ 299
27	2017	10	10～ 11	ピッキング作業中にしゃがんで商品を取っていた際に、後方の別の作業員がピッキングカートを進ませてしまい、死角にいた被災作業者に追突する。	31	6	362	300 ～ 499
28	2017	9	15～ 16	倉庫内において、左手にピッキングリストを持ち商品をピッキング業務中、右足を滑らせ尻もちをつく体勢で転倒した、その際、床に右手をつき負傷した。	48	2	416	10 ～ 29
29	2017	9	1～2	商品が積まれたパレットをハンドリフトで移動させる際、ハンドリフトがスロープの継ぎ目に引っ掛かり商品が荷崩れを起こした為、右手で抑えようとしたところ、荷崩れした商品が右手小指に当たり被災したものの。	36	4	362	100 ～ 299
30	2017	9	17～ 18	2F倉庫トラックバス付近において、パレットに積まれている商品にバーコードシールを貼る作業を実施していた。シールを貼りながら左方向に動いた際に、トラックバスの段差に気づかず、左足を踏み外し、トラックバス下に転落し、左肘を強打した。	51	1	418	100 ～ 299
31	2017	9	13～ 14	積込先営業所において、トラックの荷台にあがり、フォークリフトで荷台まで差し出された丸巻きの反物を積み込んでいた。1本20～30kgの重量があり、150本もの数量があったので、荷物を持って移動した際、腰に負担がかかり負傷した。	51	19	611	10 ～ 29
32	2017	9	2～3	到着業務での逆走中、引き漏れの荷物を対岸の引き込みローラーに押し込もうとした際に、ステップ上でバランスを崩し右足を外側に若干捻った状態で着いてしまい、小指付近に体重がかかり、小指の付け根付近を痛めたものである。	46	19	416	30 ～ 49

33	2017	9	0~1	持病の療養のため1ヶ月程休んでおり、職場復帰初日、勤務時間 の間で午前中は主に空ダンボールを潰して片付ける業務を行 い、午後は粗小物が入った箱の60cm程持ち上げ小物仕分機の方 に引き込む業務に従事。箱の重さは大腿10~15kg程、重いも のでも30kg未満、重い場合は女性スタッフと2人で作業を行っ ていた。作業中、特に発症するきっかけとなるような出来事は 無かったが、翌日腰痛を発症、痛みで動きが取れず自宅で療養 し、その後腰椎椎間板ヘルニアと診断を受けたものである。	58	19	611	100 ~ 299
34	2017	9	9~ 10	作業場で、月曜以降の配達荷物を、カゴに入れてホーム下に格 納する為、カゴ車をホーム際まで移動させたところ、止まれず にホーム下に転倒した。	41	1	362	30 ~ 49
35	2017	9	17~ 18	5F梱包ラインにて、梱包作業に従事しており、その後梱包レー ン沿いに移動した際、転倒した。	62	2	417	500 ~ 999
36	2017	9	18~ 19	庫内を歩いて移動中に、側面に設置してあった脚立に足を引っ かけて転倒。右肩を負傷したものである。	51	2	371	500 ~ 999
37	2017	9	8~9	センターのホームでロールボックスパレットを移動中、別の作 業をしていた作業員に気付かず、腰の部分にロールボックスパ レットを当ててしまう。	26	6	362	30 ~ 49
38	2017	8	13~ 14	農場にて、大型トラックで鶏の積み込みが終わって、荷台から 下に下りる際、1m上から飛び降りたとき、カゴを固定するたて 棒のフックを右足の裏で踏んでしまい、誤って刺さり怪我をし た。通常、荷台から下に下りる際は、梯子またはタイヤを使っ て下りるのだが、今回は、荷台から後ろ向きに確認せずに飛 び、たまたまあったたて棒で足を刺したものである。	31	9	221	30 ~ 49
			13~	棚の3段目（高さ約1.6m）から部品を取り出し、その場で右回				100

39	2017	8	14	りに体を反転させたとき、右足首を捻り、その場にしゃがみ込んだ。	34	19	921	～ 299
40	2017	8	16～ 17	資材置場にて、場内土砂整備に使用した重機をユニック車に積み込み、荷台から降りる際にバランスを崩し、地上約1.5mの高さから飛び降りて着地した時、左足踵を強打し受傷した。	56	3	221	30 ～ 49
41	2017	8	18～ 19	倉庫内において、発送貨物の仕分、ロールBOXへの積み込み作業中に、車両へ搭載するためにロールBOXを移動していた際、ロールBOXの左側を押したときに力を入れ過ぎ、ロールBOXが遠心力により左側に移動した。ロールBOXを止めようと前方に回り込んだとき、ロールBOXのキャスター部と左足首が接触した。	22	3	362	50 ～ 99
42	2017	8	16～ 17	チルド庫ピックアップ・トゥ・パレット出庫口から出てきた空パレット1枚を、手で引き立てようと持ち上げたとき、手を滑らせパレットが落下し、足先が挟まれてしまった。	39	4	379	100 ～ 299
43	2017	8	9～ 10	1階入荷エリア7番レーンで、商品の検品作業中、レーン上のダンボールを引こうとしたときに、前方よりダンボールを押されたため、右手首を捻挫した。	21	6	611	500 ～ 999
44	2017	8	8～9	構内にて、引越し荷物を4t車から2t車へ積み替え作業中、Lサイズのダンボールを持って4t車荷台から2t車荷台へ移動した際、雨で2t車のテールゲートが濡れていたため左足が滑り、バランスを崩して右足が4t車と2t車の隙間に落ちて、右足脛と股間を負傷した。	66	1	221	1～ 9
45	2017	8	2～3	カゴ台車を4tトラックに積み込む際、台車をストッパーに固定しようとしたところ、固定状態の確認不足で台車が動き出し、止めようとしたが間に合わず、ストッパーに車輪が引っ掛かり、台車が倒れてきて下敷きになった。	24	5	362	10 ～ 29
			9～	休憩室に向かうため、旧出荷パース側プッシュ式電動ドアから出て行こうとしたが、ドアが開いていたためそのまま通り抜け				100

46	2017	8	10	ようとしたところ、扉が閉まってきてしまい、左腕を挟まれ肉離れを起こした。	69	7	391	～ 299
47	2017	7	12~13	被災者は、蔵替え作業（製品の移し替え）のため、製品をパレットごとにトラックに積み込んでいた。パレット（製品込）1枚の重量が約600kgあるため、手駒を使用し引っ張って積み込み作業を行っていたところ、手駒がパレットから外れ、被災者はその反動で転倒した。その際、右肘と右肩をトラック荷台（箱型荷台（バン）の枠の壁に強打）に強打し負傷した。	53	2	364	100 ～ 299
48	2017	7	15~16	営業所にて、タイヤの組替作業中にバランスを崩し、転がしているタイヤが転倒し脛を強打。その場では、大した痛みや腫れもなかったため、保冷材で冷やし、業務終了まで就労した。負傷日の夜になり、激しい痛みと腫れが出始めた。	32	19	611	100 ～ 299
49	2017	7	10~11	工場東側屋外でリーチリフトにて出荷作業中、出荷ドラムの保管場所へバックで移動し停止しようとしたところ、右後輪が路面のコンクリートの割れているところにはまり、左後輪（駆動輪）が空転し操作不能となり、とっさに後方のコンクリート壁に左足を出して止めようとしたが、間に合わず、リフト後方とコンクリート壁に左足を挟んでしまった。	39	3	222	10 ～ 29
50	2017	7	8~9	冷凍庫内での商品搬送中、商品を搭載したカゴ台車を別の部屋に移動させる作業を後ろ向きに行ったため、入口扉の開いているスペースが足りない事に気がつかず、扉と台車の間に右手を挟まれた。捻挫と診断される。	33	3	362	10 ～ 29
51	2017	7	11~12	構内2階で作業中、リフコンの調子が悪く、操作パネルで復旧作業をしている際、リフコンの搬入出口前の安全ガード前に左足を出しており、フォークリフトに挟まれた。	34	6	222	30 ～ 49
52	2017	7	7~8	店舗配送を終了し、業務用EVホールから外に出る際、雨が降っていたので傘を取りに向かおうとしたところ、螺旋階段の下を	47	3	413	100 ～

				通った際に頭をぶつけた。				299
53	2017	7	11~12	倉庫内にて、フォークリフト作業中、なんらかのはずみでフォークリフトのレバーにトランシーバーが挟まってしまい、ギアがバックの状態に固定されてしまい、あわててペダルを放したときにフォークリフトが止まらず、そのままパレットの間に左足が挟まり、負傷してしまった。	37	7	222	1~9
54	2017	7	11~12	車両をトラックスケールに乗せ計量終了した際に、サイドブレーキを引き忘れた状態でステップに乗り、連結作業を行い台車側のブレーキが解除され、車両が前方に動いたため慌てて飛び乗り、手でフットブレーキを押しサイドブレーキをかけ停車させた。この際右足踵を骨折した。	54	3	221	30~49
55	2017	6	17~18	出荷室へ完成済みのカゴ車を指定場所へ運搬後、セット室へ戻ろうと小走りになり、足を滑らせ転倒した。	63	2	417	50~99
56	2017	6	17~18	仕分けホームにおいて作業中、仮置き荷物を持ち上げた際、動作の反動で腰から背中に痛みがはしり、被災したものである	47	19	611	50~99
57	2017	6	16~17	駐車場で、大型ダンプを駐車して降りる際に手が滑り、落下して腰部を強打し負傷する。	65	1	221	10~29
58	2017	6	10~11	作業所梱包場において、アルミコイルが載った鉄馬4台、アルミスクラップが載った鉄馬1台、空の鉄馬1台が1列に連なって並んで置いてあった。被災者は、アルミコイルの内径を測定するため歩きだした。アルミコイルの内径を測定する馬台の前には、アルミスクラップが載った馬台が置かれていた。被災者は、アルミスクラップの載った馬台に乗らなければアルミコイルの内径を測定する事が出来なかったため、右足を鉄馬の上に載せ、左足をアルミスクラップの上に載せた時、両足が前に放	50	2	521	50~99

				り出され、鉄馬の上に尻もちをついた。				
59	2017	6	14～ 15	交差点で信号待ちのため停車中、相手方に追突され負傷した。	33	17	231	50 ～ 99
60	2017	6	16～ 17	搬入口にて、荷物をパレットへの載せ替え作業中に、意識が朦朧として、転倒し負傷した。	39	11	715	50 ～ 99
61	2017	6	11～ 12	物流センター内倉庫で商品の荷崩れを直そうとした際、足を踏み外して棚上（高さ約1.6m）から落下し、腰と肘を床に打ちつけ打撲したものである。	30	1	379	10 ～ 29
62	2017	6	11～ 12	倉庫内のダンボール保管棚にあるダンボールを取るため、脚立を昇降面が保管棚に対して平行になるように置き、脚立に上り始めたが、目線が上方向で階段のステップを確認せず、また体を曲げた状態であったため、2段目ステップを踏み外したと同時に体勢を崩して脚立と共に倒れ、コンクリート床面に左肘と左足首を強打した。	39	1	371	100 ～ 299
63	2017	6	11～ 12	コンテナ修繕庫内で、本人は修繕コンテナの左下ヒンジ曲がりの修繕をするために、治具をヒンジに挿入し、修繕を開始した。治具を挿入し、開戸合わせ目の部分を何度か押した瞬間、治具が割れて抜け、その反動でバランスを崩して、右膝をフォーク車止めに強打し受傷した。	20	3	391	100 ～ 299
64	2017	5	9～ 10	工場内洗車場において、脚立を使用してのダンプの洗車作業中、脚立の三段目から下の二段目に右足を掛けようとしたところ、足を踏み外したはずみで右手から地面に倒れ落ち、右手肘を負傷した。	46	1	371	10 ～ 29
65	2017	5	13～	事務所の移転の為、車庫にあるエアーコンプレッサーをフォークリフトですくって持ち上げトラックに載せようとしたところ、コンプレッサーの下部が丸くなっていたので、コンプレッ	49	4	611	10 ～

			14	サーが倒れて下に落ち、その反動でバウンドして荷物が本人の右足の先に当り骨折した。				29
66	2017	5	13～ 14	被災者は、床上操作式門型クレーンを用い、仮置きしていた桁材の移動作業を行っていたところ、玉掛け作業を行う為、吊具のクランプ方向を見ながら近づいて行った際、足元桁材の隙間（50cm）に足を踏み外し、1.6m下の地面に転落し、左大腿骨を骨折した。	58	1	521	1～ 9
67	2017	5	11～ 12	倉庫内で、ピッカーリフトを使用して商品荷出中に、高さ約3mから足を踏み外し転落し、頭を強く打った。	59	1	222	1～ 9
68	2017	5	8～9	商品のピッキング作業中、飲料ケース（2リットルペットボトル6本入り、約15kg）1箱を持ち上げたところ腰に痛みが走り、腰椎捻挫をした。その後は荷物を持たずに済む作業に変えてもらい、そのあと通常に勤務したが、痛みがとれなかった。	31	19	611	50 ～ 99
69	2017	5	8～9	カゴ台車にて納品をする際、マンホールにタイヤが挟まり、カートが倒れてしまった。それを支えようと右手を差し出したため、右腕がカートの下敷きとなってしまう、右肘と右手首を負傷した。	51	6	419	100 ～ 299
70	2017	5	4～5	明け方、仕事からの帰宅途中、運転中に具合が悪くなり、道路の中央で意識がない状態で病院に運ばれ、心不全で死亡した。	35	90	921	300 ～ 499
71	2017	5	0～1	被災者は、夜から翌朝までのシフトで、倉庫内のピッキング作業に従事していた。棚の一番高い箇所の商品（片手で持てる程度の大きさで軽量）を取るために、踏み台を使用してプラモデルをピックし、踏み台から降りるために右足を床に着いた際に右足ふくらはぎに痛みを感じた。	59	3	417	300 ～ 499
				構内において、フォークリフトを使用してパレットの移動作業中、フォークリフトに乗り込もうとヘッドガードの手すりを左				

72	2017	5	11～ 12	手で掴み、左足をステップに掛けた際に、ステップが雨で濡れており、うっかり左足を滑らせてしまい、その拍子に体のバランスを崩して倒れそうになったので、咄嗟に両手をフォークリフトのステップについて転倒するのを防いだが、両手をついた時の衝撃で右手と首を負傷した。	53	1	222	10 ～ 29
73	2017	5	19～ 20	貨物ホームにてトラックの荷台から荷物を持ち後ろ向きに荷運びしていたところ、トラックとホームの間隙を踏み外し、地面に落下した。	31	1	221	30 ～ 49
74	2017	4	9～ 10	センター内で空車になったトラックの荷台に入り残荷確認を行ったあと、トラックから降りようとした際、トラック荷台の角に足が引っ掛かって落下し、地面にて左足膝を強打した。	44	1	221	50 ～ 99
75	2017	4	13～ 14	出庫のため商品をとろうとしていた際、少し高いところにあっただので、その下の高さ1.5mほどの商品の上に乗ってとろうとした。取る際に乗った商品のダンボールがくずれて落下し、右側から尻もちをつき強打した。床はコンクリートのため激痛が走ったが、その後は痛みが引いたので作業を続けた。しかし、パレットをひく際に痛みを感じるようになった。	35	1	611	50 ～ 99
76	2017	4	15～ 16	構内にてトラック荷台後部より降車しようとしたところ、トラックの後部のバンパーにあるステップに足が乗らず、後方に転倒するかたちで地面に落ち、右腕を強打した。	51	1	221	50 ～ 99
77	2017	4	3～4	駐車場にて、折りたたみコンテナ入りのからカゴを回収している際に、駐車場の溝にカゴのタイヤが挟まり、カゴを転倒させてしまい、カゴが足の上に落下した。	50	6	419	10 ～ 29
78	2017	4	10～ 11	大型車運転中、前方の大型車の前の乗用車が急に右折ウイinkerを出し急停止したため、前方大型車が急ブレーキをかけ、止まりきれず追突し腰を負傷した。	47	3	221	10 ～ 29
79	2017	4	18～	荷台で空パレットの整理をしている時に、パレット引っ掛け棒を使って移動しようとしたところ引っ掛け棒が外れて、その反	51	3	611	1～

			19	動で体勢を崩し、空パレットに右ひざが激突した。				9
80	2017	3	21~22	自社倉庫内にてお客様から回収したコピー機を解体した後のパーツの分別作業中に、トナーを入れるダンボール箱を廃棄する工程に於いて、ダンボール箱を圧縮するために積み重ねたダンボール箱の上に両足で乗った際、バランスを崩して転倒した。	34	2	418	10 ~ 29
81	2017	3	16~17	乗務中、商品配置をリフトマンに指示をしているとき、リフトマン操作中のフォークリフトが右足上を走行し負傷した。	48	7	222	10 ~ 29
82	2017	3	6~7	並走するベルトコンベアの間通路に立って、荷物を載せるローラーへ荷物を押し込むように仕分け作業を行っていた時、足元に置いてあった荷物につまずきバランスを崩して転倒した際に、右側の腰をベルトコンベアのフレーム部分にぶつけ負傷した。	47	2	611	50 ~ 99
83	2017	3	8~9	自社の車庫において4tトラックに乗車する際、コンクリートブロック（たて20cm×よこ20cm×高さ60cm）の上に足を掛けて乗車しようとしたところバランスを崩し、後向きに倒れ、背中と後頭部をコンクリートの床面で打撲して負傷した。	70	1	529	1~ 9
84	2017	3	11~12	宅配ホームの残荷のPDT入力をする際に、カゴ車に積んであった2個1梱包の水の荷物を持ち上げ移動したところ、腰に痛みを感じ動けなくなった。	33	19	921	10 ~ 29
85	2017	3	14~15	納品中、商品満載（ビール約300kg）のカゴを搬入する際に傾斜でバランスを崩し、商品を支えようとして足を踏ん張った際に股関節を痛めた。	53	19	611	100 ~ 299
86	2017	3	10~11	荷物を積んだカゴ台車をトラックから降ろし歩道に上げる際、被災者は1台目の後方から台車を押ししており、2台目のカゴ台車を押すスタッフ2名は、前方の状況を確認せず歩道に上げるため	24	7	611	300 ~

94	2017	1	17～ 18	パーツセンターE部品庫にてリーチリフトでバック走行、部品保管棚とリーチリフトとの間に、右臀部を挟まれ被災した。	40	7	229	300 ～ 499
95	2017	1	7～8	バスに車両後部をつけ、車両後部のゲートを荷降しの為下げていた際、先に地面に降りたところ、地面の溝に右足が挟まり転倒し、右足首を負傷した。	52	2	419	100 ～ 299
96	2017	1	20～ 21	会議後の懇親会に出席し帰宅する際に交通事故に遭い、尿管等の損傷が疑われる。	69	17	231	10 ～ 29
97	2017	1	3～4	弊社内でケース出荷作業を実施中に、てんかんの発作を起こし意識を失い、床に倒れ、右肩を強打した。	23	2	416	50 ～ 99
98	2017	1	9～ 10	事業場倉庫において、資材等の整理作業中、重さ20kg程度の塗料缶を持ち上げ移動させる際に手を滑らせてバランスを崩し転倒、右手首・右ひじを強打し骨折した。	59	2	416	—
99	2017	1	13～ 14	トラックの荷台で重さ20kg～25kgのダンボール箱を手積みした際に腰を負傷した。	50	19	611	10 ～ 29
100	2017	1	16～ 17	引越荷物搬入中、2階から3階に室外エアコン（10kg）を運んでいるとき、階段で足が滑り、右膝をぶつけて負傷した。	21	3	413	50 ～ 99

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例 \(-2017年\)](#)に戻る。